

# 洋風便器 排水芯可変タイプ

防露便器



メーカー管理用です。

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

## 注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

- 警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

## 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。  
(100V 電源使用の場合)  水かけ禁止

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。  
(100V 電源使用の場合)  分解禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※ 感電の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)  ぬれ手禁止

バスルーム内など湿気が多い場所には、設置しないでください。  
※ 感電・火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合)  水場使用禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)  禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※ 感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合)  禁止

● 交流 100V 以外では使用しないでください。  
● タコ足配線など定格をこえる使い方はしないでください。  
※ 火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合)  禁止

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※ 感電・火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合)  指示実行

## 注意

陶器は割れものです。  
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。  
 指示実行

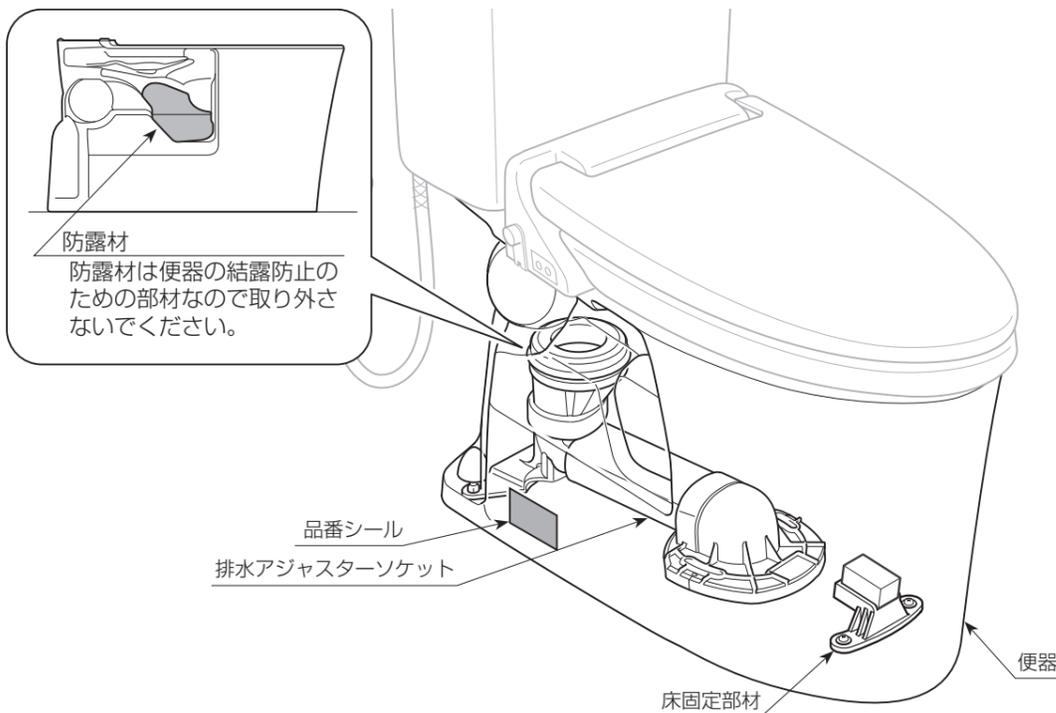
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。  
 指示実行

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。  
 指示実行

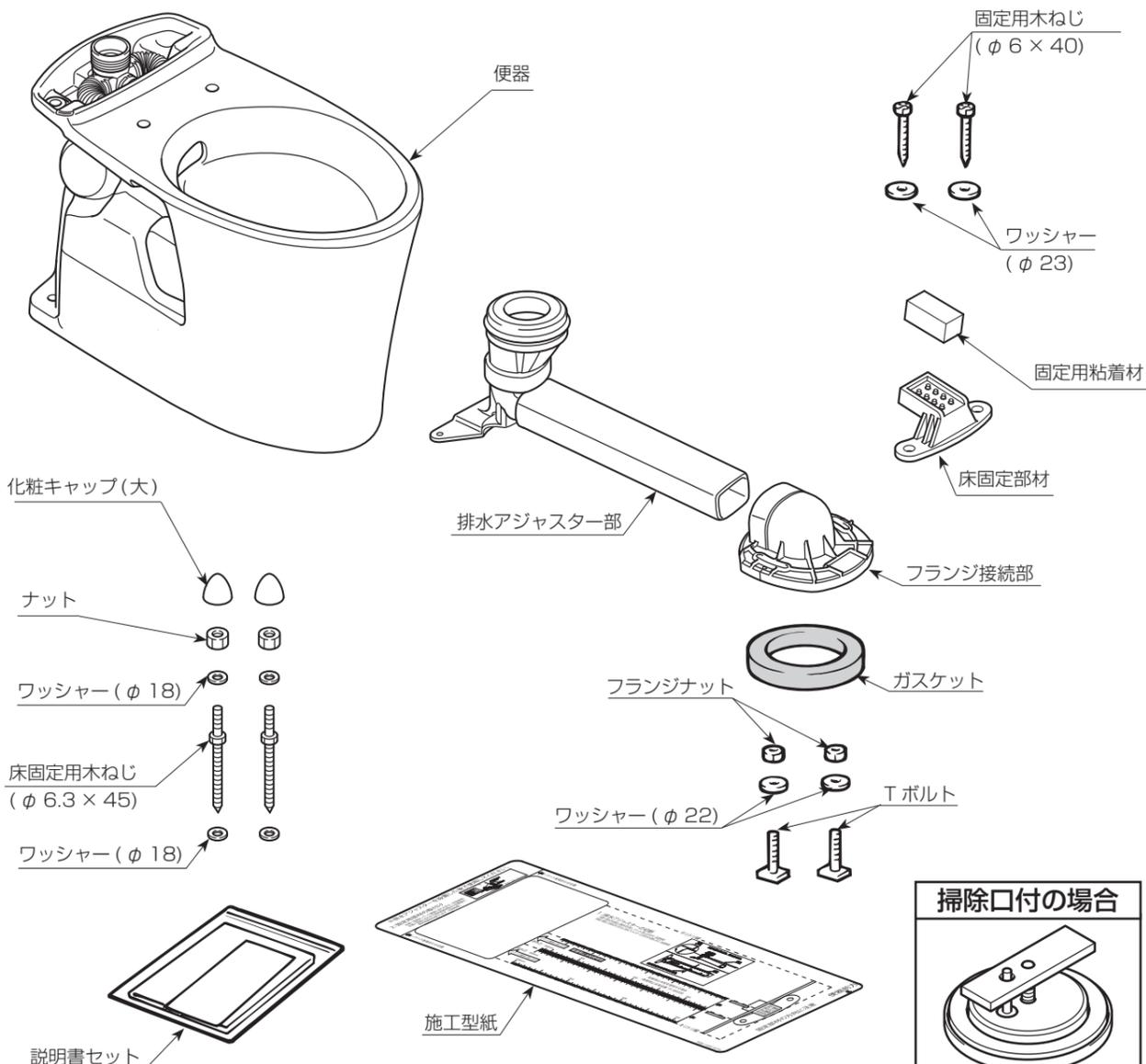
## 施工前の注意

- 便器、取替用止水栓、ロータンクの順序で施工を行ってください。また、施工方法は各施工説明書を参照してください。

## 各部のなまえ



## 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



### 掃除口付の場合

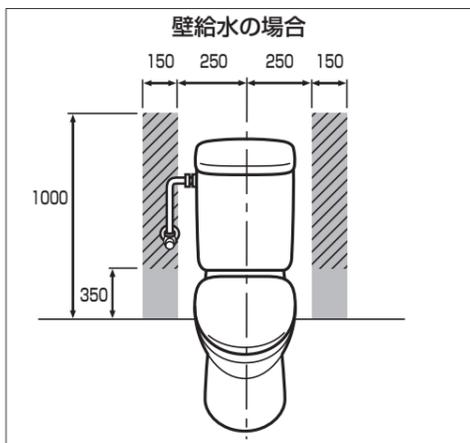


商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

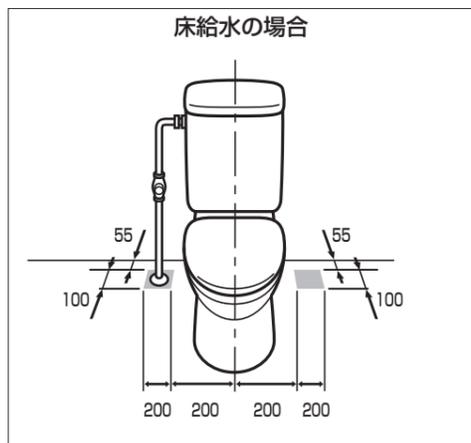
受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

# 給水範囲

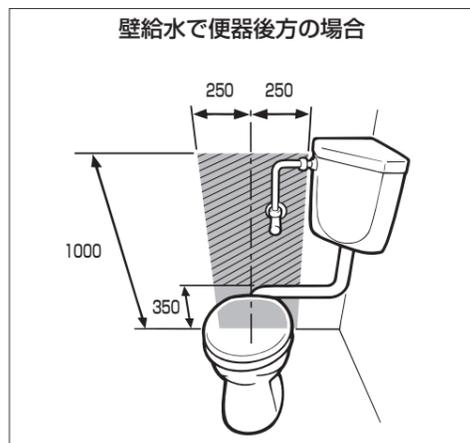
対応できる給水範囲と排水芯は下記ようになります。



注意 1 参照



注意 1 参照



注意 1 参照

注意 2 参照

既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調節してください。

〈陶器タンク式で水抜仕様の場合〉  
水抜方式を施工する際に、給水位置が上記の斜線の場合  
→水抜きが出来ないため下記の部材が別途必要になります。

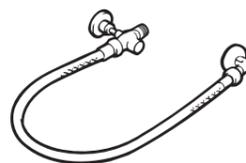
名称	品番
水抜栓付エルボ	A-1955
袋ナット	37-15
サブライ管パッキン	50-15
取替用サブライ管	TF-1890SR
支持金具	CF-115-13(75-105)

※ シャワートイレ型の場合は機種により止水栓位置の条件が異なりますので、総合カタログを参照して確認してください。

〈シャワートイレ〉  
既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。

〈一般便器〉  
既存の止水栓は使用できません。タンクセットに同梱の止水栓を使用します。

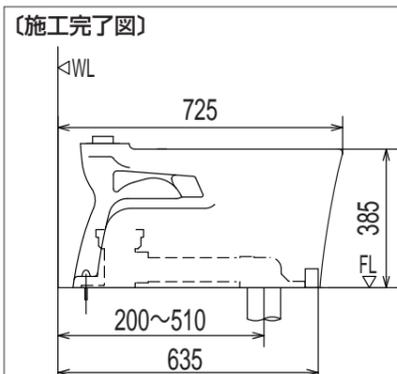
既存の止水栓ではタンク背面と止水栓が接触します。取替止水栓（別途手配）が必要です。取替止水栓 (TF-3892ER)



水抜方式を施工する際に、給水位置が上記の斜線の場合。  
→水抜きが出来ないため、取替用止水栓付エルボ (A-3850) が別途必要になります。

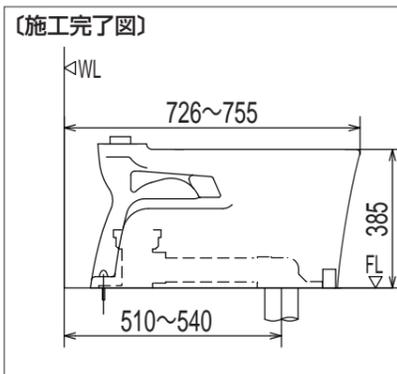
## 排水芯

対応排水芯① 200～510mm



対応排水芯② 510～540mm

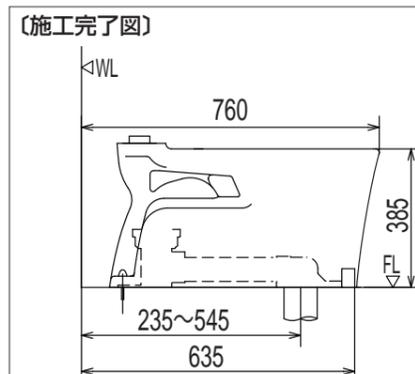
便器を前に出すことにより施工可能です。ただし、便器前出寸法は大きくなります。



## 排水芯

対応排水芯 235～545mm

便器を 35mm 前に出して施工します。



### 注意 1

給水位置が [斜線] 以外の場合、給水位置の変更が必要です。

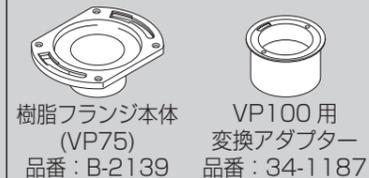
### 注意 2

隅付ロータンクからの取替で、横側の壁に給水口がある場合や床給水の場合は、取替用止水栓での施工はできません。施工可能な位置に給水口を取り出してください。



### 参考 1

【別途手配】ソケットアダプター CF-200S (AY仕様の場合 CF-200S(AY))



※ CF-200S には取付ビスが 4 本同梱されています。

取付ビス  
品番: 68-35 (1本 φ4.5 × 38)  
(AYビス 品番: AY-2 (1本))  
下穴 (径 7.5 深 5.5)

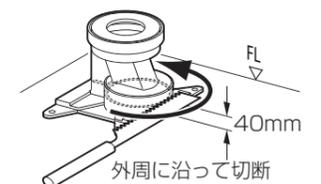
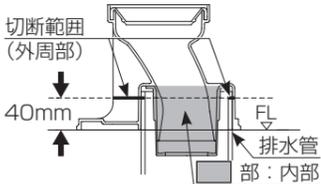
### 注意 3

排水管、変換アダプター、フランジ部の接着は確実に行ってください。すき間、ガタがある場合は、コーキング剤を使用してシール接着してください。※ 接着が不十分ですと漏水、臭気漏れの原因となります。

## 排水ソケットからの取替え

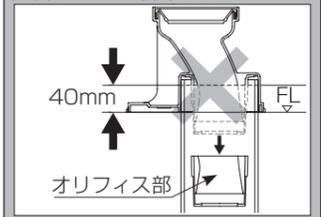
### 手順 1 既存ソケットの取外方法

(1) ビスを外し、外周部を高さ 40mm の位置で切断してください。

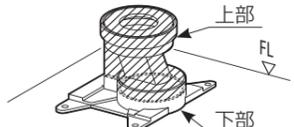


#### 【切断時の注意】

内部まで切断すると、排水管径によってはオリフィス部が落下し、配管つまりの原因になります。

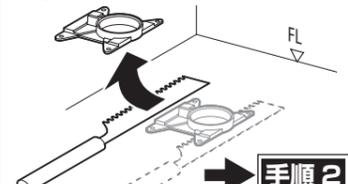


(2) 排水ソケット上部を取り外せるか確認してください。



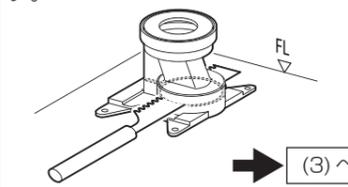
#### 【外せる場合 (VP/VU100)】

床面と下部の間にノコ歯を入れ排水パイプを切断し、下部を取り外してください。

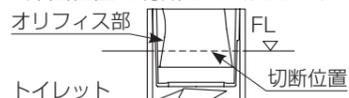


#### 【外せない場合 (VP/VU75)】

外周部を切断した位置で内部まで切断し、排水ソケットを取り外してください。



(3) オリフィス部落下防止のため、丸めたトイレペーパーを詰め、床面位置で切断してください。



(4) オリフィス部を取り出せるか確認してください。



#### 【外せない場合 (VP75)】

縦に切れ目をいれオリフィス部を取り外します。※ 配管にキズをつけないように注意して取り外してください。

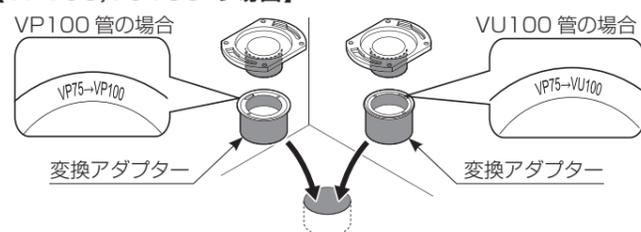


### 手順 2 変換アダプターとフランジの取付方法

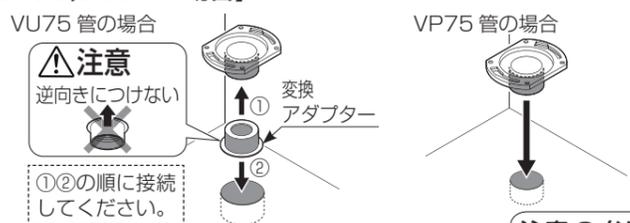
ソケットアダプター CF-200S (別途手配品) を使用してフランジを取り付けます。(参考 1 参照)

(1) 排水管の内側をきれいにします。  
(2) 下部の塗布部 (■色部分) に塩化ビニル接着剤を塗り、接続します。  
※ フランジと変換アダプターの接着面に汚れがないか確認してください。

#### 【VP100, VU100 の場合】



#### 【VP75, VU75 の場合】

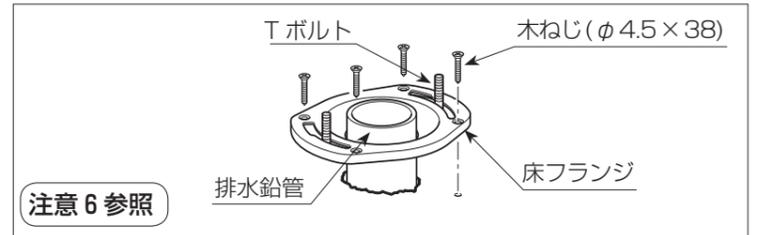
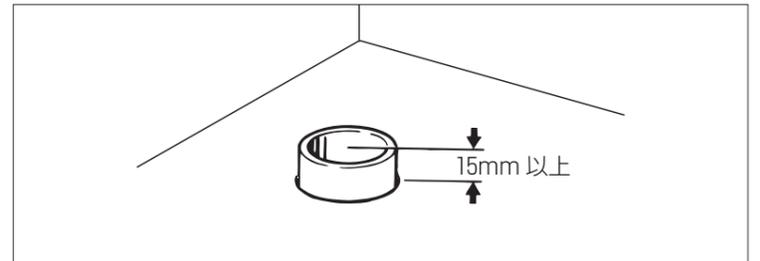


注意 3 参照

# 施 工 方 法

## ●排水鉛管の切断と床フランジの取付け（排水芯 200mm の鉛管の場合）

- (1) 排水鉛管を床と平行に切断します。  
LP75,LP100 の場合：床仕上げ面より高さ 15mm 以上  
**注意 4 参照**
- (2) 床フランジのテーパ部分が床の中に入るように排水鉛管周囲をはつります。
- (3) 床フランジに T ボルトを組み込み、木ねじで床面に固定します。  
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 7.5、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-2）を使用します。
- (4) 排水鉛管の切口を床フランジのテーパ面に沿って広げ、はんだ付けします。はんだ付けを省略する場合は、切口を床フランジ上面に広げます。  
**注意 5 参照**



### 注意 4

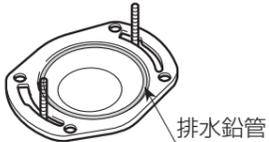
切断面は、床と平行になるように切断してください。  
※ 切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。

### 注意 5

床フランジの取付けは、必ず仕上げ面上で行ってください。

### 注意 6

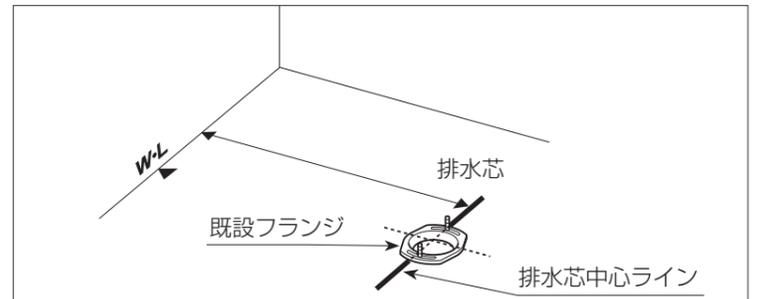
床フランジのテーパ面に沿って排水鉛管を確実に拡げてください。  
※ 拡げ方が不十分ですと、排水鉛管と排水ソケットが干渉する恐れがあります。



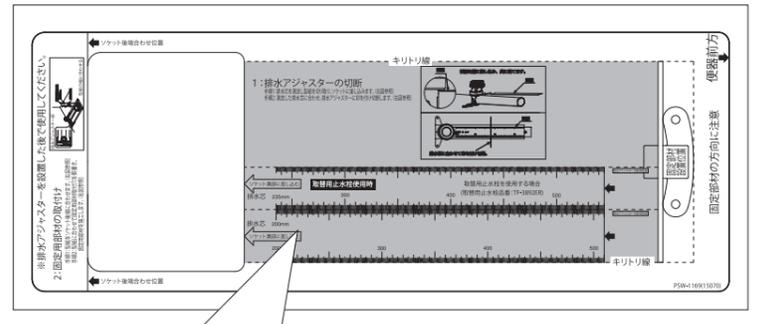
## 1 排水アジャスターソケットの取付け

### 1. 排水アジャスター部の切断

- (1) 排水芯中心ラインを引き、後ろの壁から排水芯までを測定します。  
※ 便器の位置を決める重要な線です。排水芯中心ラインを必ず引くようにしてください。



- (2) 施工型紙のアミカケ部分を切り取ります。



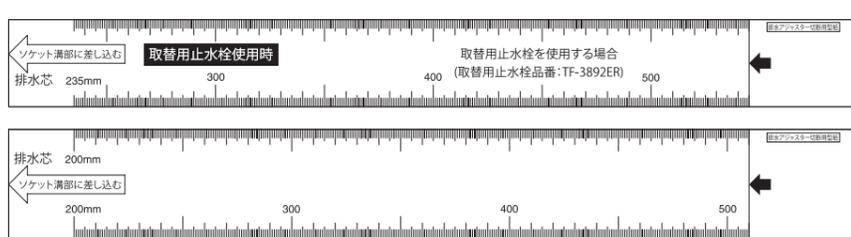
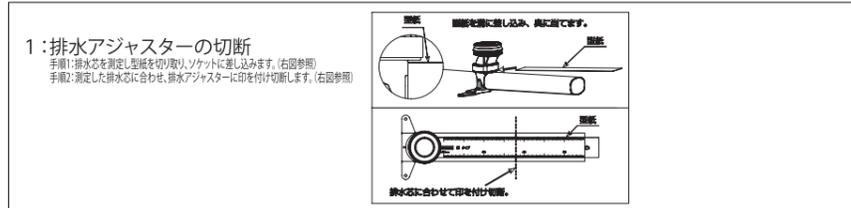
- (3) 品番に応じて、使用する排水アジャスター部切断用型紙を切り取ります。  
**注意 7 参照**

### 注意 7

取替用止水栓を使用する場合は、排水アジャスター部切断用型紙が異なりますのでご注意ください。  
※ 使用方法を間違えると、施工不良の原因になります。

### 注意 8

排水アジャスター部やフランジ接続部を誤って落とさないようにしてください。  
※ 部材の損傷部から漏水する恐れがあります。  
切断後、フランジ接続部を、再度差し込んで排水アジャスター部の長さを確認してください。  
※ 差込みが不十分ですと便器の取付位置がずれ、施工不良の原因になります。  
切断は排水アジャスター部に対して垂直に行ってください。  
※ 斜めに切断すると、漏水・臭気発生の原因になります。  
切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。  
※ 漏水する恐れがあります。

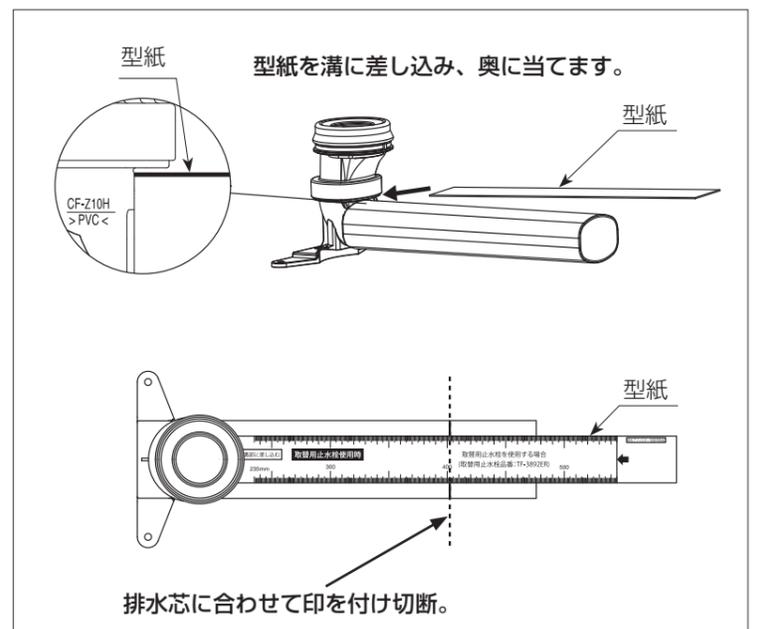


(取替用止水栓仕様) TF-3892ER  
※ 取替用止水栓を使用する場合はこの型紙を使用します。

(標準タイプ)

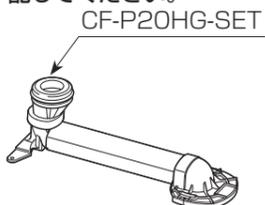
- (4) 切り取った型紙を排水アジャスター部の溝部に差し込み、測定した排水芯長さで切断します。  
**注意 8 参照**

※ 誤って排水アジャスター部を長く切った場合は、便器が壁寄りに設置されてしまうため、タンクと壁が干渉し、施工できない恐れがあります。  
**注意 9 参照**



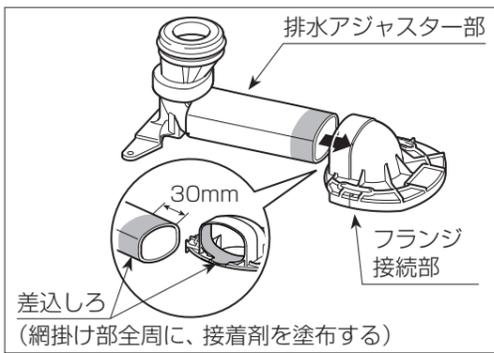
### 注意 9

排水アジャスター部の切断・接着を間違えた場合には、以下の品番で手配してください。

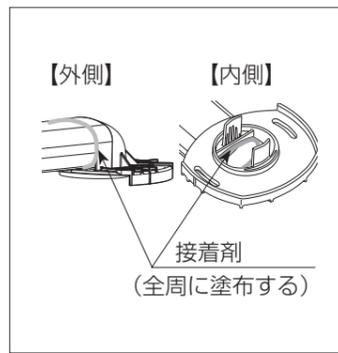


## 2. 排水アジャスター部・フランジ接続部の接着

- (1) 排水アジャスター部とフランジ接続部の差込しろ（網掛け部分）に接着剤を2、3回重ね塗りします。



- (2) 排水アジャスター部をフランジ接続部の奥まで差し込み、外側内側両方の端部に接着剤を塗ります。

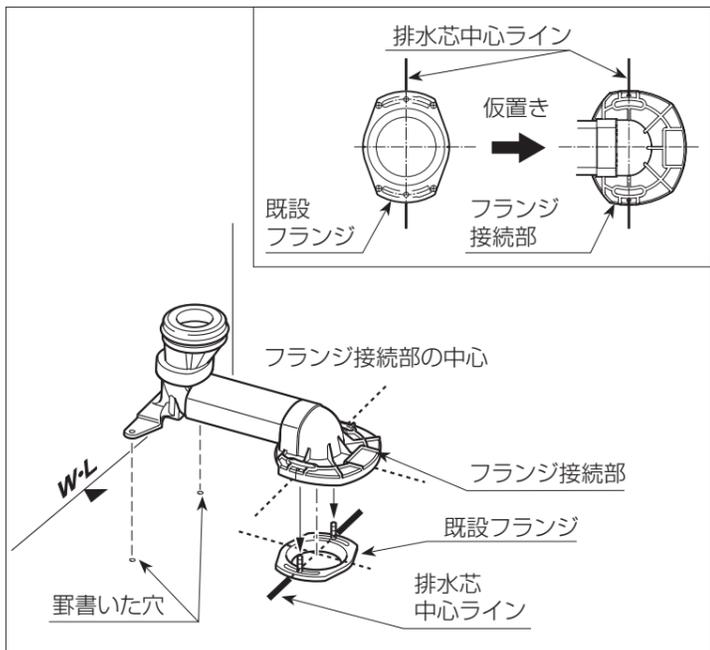


【注意 10 参照】

## 3. 排水アジャスターソケットの位置決め・固定

- (1) フランジ接続部の中心を排水芯中心ラインに合わせて仮置きし、ねじ穴位置を罫書き、下穴をあけます。  
 (2) フランジ接続部の排水口にガスケットを付け、フランジ接続部の中心を排水芯中心ラインに合わせてみます。

### 〈排水アジャスターソケットの位置決め〉



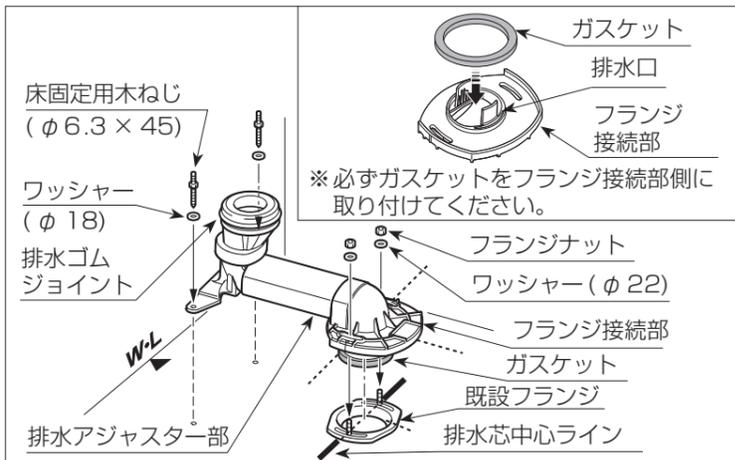
- (3) フランジ接続部を、ワッシャーとフランジナットで既設フランジに固定します。【注意 11 参照】

- (4) 排水アジャスターソケットをワッシャーと床固定用木ねじで固定します。  
 床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、AY ボルト（AY-86D）を使用します。

【注意 12 参照】 【注意 13 参照】 【注意 14 参照】

- (5) 排水ゴムジョイントから水を流し、接続部から漏水が無いことを確認します。

### 〈排水アジャスターソケットの固定〉



## 4. 固定用部材の位置決め・固定

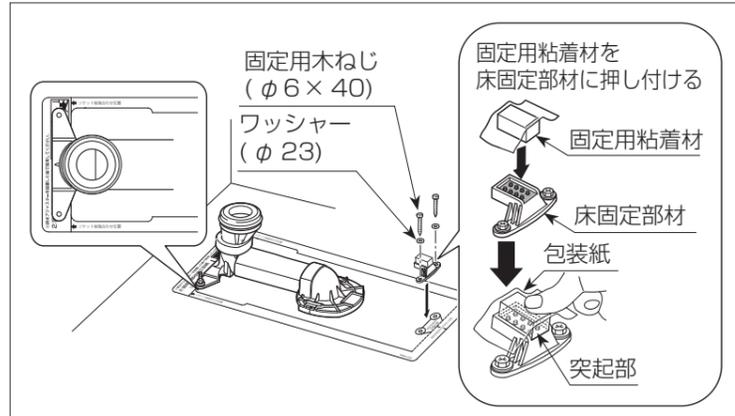
- (1) 「2. 固定用部材施工型紙」を排水アジャスターソケットの後端に合わせ、床固定部材取付穴を罫書き、床固定部材を固定用木ねじで固定します。

床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、AY ボルト（AY-23 W）2 本を使用します。

- (2) 固定用粘着材を床固定部材の上面中心に置き、包装紙を上にかぶせ固定用粘着材が床固定部材の突起部分に全て食い込むまで押しつけます。

- (3) 固定用粘着材が剥がれないように固定用粘着材を押さえながら包装紙を剥がします。

【注意 15 参照】 【注意 16 参照】



## 2 便器の固定

- (1) 床固定用木ねじのボルト部に便器の固定用穴を合わせた状態で排水口を排水ゴムジョイントに差し込み、便器前方を浮かせたまま位置合わせを行います。

※ 陶器を排水アジャスターソケットに差し込む際、陶器が固定用粘着材に付かないように斜めにおろしてください。（右図参照）

【注意 17 参照】

- (2) 便器前方をゆっくりおろし、便器前方が床に着くまで押し下げ、しっかりと圧着させます。

※ 位置合わせがずれた場合は、便器前方を持ち上げて、再度位置合わせを行い、取り付け直します。

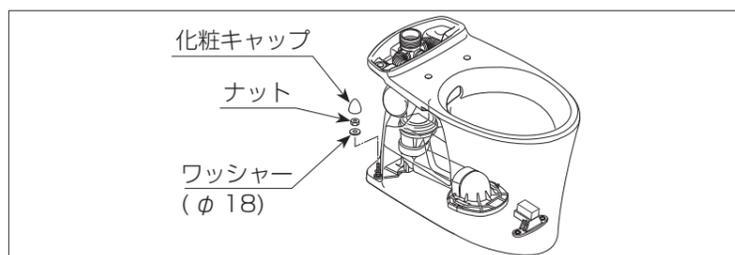
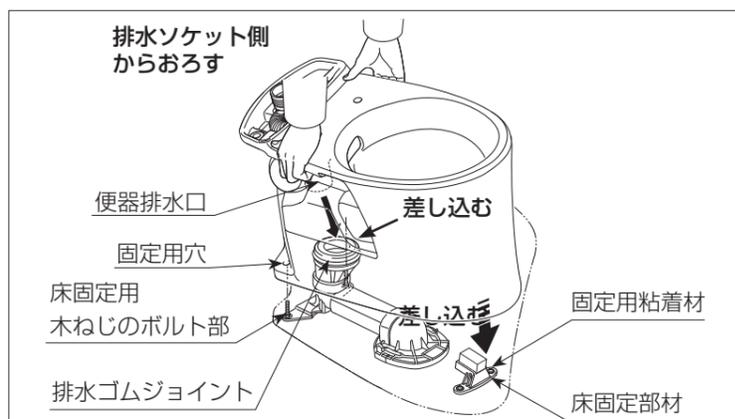
※ 便器をしっかり圧着させるための作業です。

【注意 18 参照】

- (3) 便器後部をワッシャーとナットで固定し、化粧キャップを取り付ける。

【注意 19 参照】

- (4) 便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。

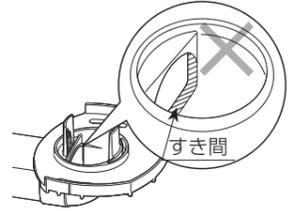


## 3 掃除口の取り付け（掃除口付の場合）

掃除口に添付の施工説明書に従い施工してください。

### 【注意 10】

排水アジャスター部とフランジ接続部の接着は、両方に確実に塗布してください。フランジ接続部裏側から見て排水アジャスター部が奥までピッタリ差し込まれていることを確認してください。  
 ※ 接着が不十分だと漏水、臭気発生の原因になります。

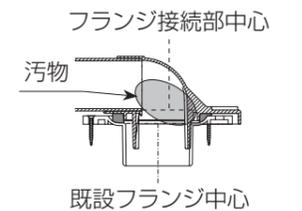


### 【注意 11】

既設フランジのボルト・ナット等が腐食している場合は、同梱の T ボルト、フランジナット、ワッシャーをご使用ください。

### 【注意 12】

既設フランジにフランジ接続部を取り付ける際は、既設フランジ中心とフランジ接続部の中心を合わせてください。フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する可能性があります。

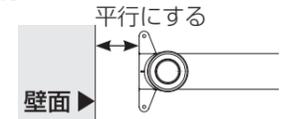


### 【注意 13】

排水アジャスターソケットを床へ固定する際には、床面の傾きや不陸にご注意ください。排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因となります。  
 フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。  
 ※ 既設フランジが破損し漏水の恐れがあります。

### 【注意 14】

排水アジャスターソケットは必ず後ろ壁面に対して平行に取付けてください。斜めに取付けると便器が斜めに取り付きます。



### 【注意 15】

床固定部材に切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに除去してください。  
 ※ 便器の固定不良の原因になります。

### 【注意 16】

気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。20～30℃のぬるま湯で暖めたり、開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れておき、柔らかくしてからご使用ください。  
 ※ ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。

### 【注意 17】

便器の台座を排水アジャスターソケットの上に乗せないでください。  
 ※ 排水アジャスターソケットが破損したり、排水ゴムジョイントを傷めて漏水の恐れがあります。

### 【注意 18】

便器を外す際、便器後部にある床固定用木ねじで便器をキズつけないように注意してください。

### 【注意 19】

陶器に対するねじは締め過ぎないようにしてください。  
 ※ 陶器が割れる恐れがあります。